

日本内分泌学会 男女共同参画推進委員会 (JES We Can) 近畿支部のご紹介

近畿支部では、主に近畿支部学術集会での JES We Can 企画を中心に、近畿の各施設・診療分野で内分泌を専門とした女性医師・女性研究者として、診療・研究・教育を推進しながら、後進の指導や学生の支援を行っています。

①JES We Can 近畿支部の成り立ち

JES We Can 近畿支部は、2009 年 4 月に済生会茨木病院・加藤純子先生を代表委員として、男性メンバーとして京都医療センター元臨床研究センター長(現、草津総合病院)島津章先生、近畿大学・藤本美香先生、京都大学・三浦晶子先生、京都医療センター・浅原哲子の総勢 5 名で発足しました。島津章先生には Jes We Can 中央の委員としても、Jes We Can 近畿支部の発展に向け、メンバーの勧誘、ご助言含めてご支援頂きました。

その後、2014 年 4 月に、大阪母子医療センター・位田忍先生、京都大学・井上真由美先生、2017 年 4 月に神戸大学・高橋路子先生、2017 年 11 月に大阪母子医療センター・道上敏美先生、大阪府済生会中津病院・新谷光世先生を迎え、現在、総勢 9 名で活動を行っています。

2020 年度の Jes We Can 近畿支部会後のメンバーWEB 会議にて、これまで代表委員を務めてこられた加藤純子先生より代表交代の提案があり、2021 年度より浅原哲子先生が支部代表に就任致しました。

②JES We Can 近畿支部の取り組み・活動

近畿支部ではこれまで、日本内分泌学会近畿支部女性会員の皆様への啓蒙活動を実施し、その一環として、近畿支部学術集会での JES We Can 企画の講演会の企画・運営を皆で協議しながら進めてまいりました。近畿支部学術集会では、JES We Can 近畿支部より、各大会長に依頼し、託児所の設置等のご高配頂いております。また、発足当初は、近畿支部学術集会での JES We Can 企画では若手中堅女性医師数名による講演、JES We Can 近畿支部メンバー(浅原)による講演等を行っていましたが、その後、全国から内分泌代謝分野の女性医師・研究者のエキスパートの先生にお越し頂き、特別講演を賜りました(第 15 回・2014 年 福島県立医科大学 緑川早苗先生、第 16 回・2015 年 東京女子医科大学・肥塚 直美先生、第 17 回・2016 年 虎の門病院 井下尚子先生、第 18 回・2017 年 虎の門病院 宮川めぐみ先生、第 19 回・2018 年 名古屋大学・東村博子先生)。講演後には、JES We Can 企画の講演者の先生方と近畿支部メンバーで親睦会を行い、女性医師・研究者の支援の今後の活動等を話し合ってきました。2020 年度の日本内分泌学会第 21 回近畿支部学術集会では、コロナ禍中という事もあり、JES We Can 企画講演を近畿支部としては初の Web 開催(配信)にて東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 槇田紀子先生にご講演頂き、活発な討論を行いました。

また、近畿支部学術集会後には、近畿支部メンバーで今後の JES We Can 近畿支部の活動について Web で話し合いました。

昨今、社会でも男女共同参画・ダイバーシティ、女性活躍促進が推進される中、女性医師・研究者には、仕事・研究と家庭・妊娠・出産・育児等との両立などまだまだ障壁があります。今後も真の男女共同参画の推進を目指し、少しでも多くの若手医師・研究者に内分泌に興味を持ってもらえるよう、専門医取得・維持できるよう、また若手女性医師・研究者が活躍できるよう、JES We Can 近畿支部メンバーで、力を合わせて支援・活動をしていく所存です。今後ともご指導のほど何卒、宜しくお願い申し上げます。

文責:浅原 哲子(メンバーの先生方にご指導・ご協力頂きました)

■ JES We Can 近畿支部メンバー(50 音順・敬称略)

浅原哲子(支部代表)、位田忍、井上真由美、加藤純子、新谷光世、高橋路子、藤本美香、三浦晶子、道上敏美